

## フルキサメタミド (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び海外機関から「国外で使用する農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

## 1. 概要

(1) 品目名：フルキサメタミド [ Fluxametamide (ISO) ]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

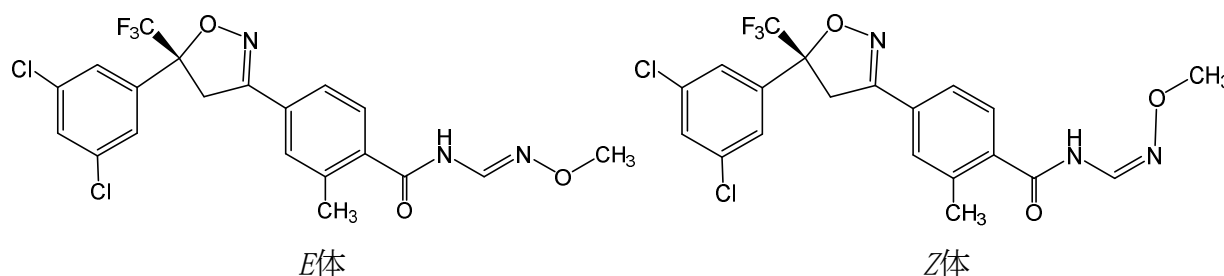
イソオキサゾリン骨格を有する殺虫剤である。GABA ( $\gamma$ -アミノ酪酸) の伝達を非競合的に阻害し、神経を攪乱させることにより殺虫効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

4-[(5*RS*)-5-(3,5-Dichlorophenyl)-5-(trifluoromethyl)-4,5-dihydroisoxazol-3-yl]-*N*-(*EZ*)-[(methoxyimino)methyl]-2-methylbenzamide (IUPAC)

Benzamide, 4-[5-(3,5-dichlorophenyl)-4,5-dihydro-5-(trifluoromethyl)-3-isoxazolyl]-*N*-[(methoxyamino)methylene]-2-methyl- (CAS : No. 928783-29-3)

(5) 構造式及び物性



(光学異性体：ラセミ体、*R*体：*S*体 = 1：1、  
幾何異性体：*E*体及び*Z*体の混合物であり、*E*体及び*Z*体は相互変換する。)

分子式	C <sub>20</sub> H <sub>16</sub> Cl <sub>2</sub> F <sub>3</sub> N <sub>3</sub> O <sub>3</sub>
分子量	474.26
水溶解度	5.4 × 10 <sup>-5</sup> g/L (20°C)
分配係数	log <sub>10</sub> Pow = 5.0

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

### (1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

#### ① 10.0%フルキサメタミド乳剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数							
ヤングコーン	ハダニ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	1回	散布	1回							
未成熟 とうもろこし														
やまのいも	ハスモンヨトウ	2000倍			収穫7日前 まで		2回以内							
さといも		2000～ 3000倍												
	ハダニ類	2000倍												
かんしょ	ナカジロシタバ ハスモンヨトウ コナジラミ類 ハダニ類	2000～ 3000倍												
	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ													
だいこん	コナガ ハイマダラノメイガ カブラハバチ キスジノミハムシ アオムシ													
<span style="border: 1px solid black;">かぶ</span>	コナガ キスジノミハムシ	2000倍												

① 10.0%フルキサメタミド乳剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数			
はくさい キャベツ	シロイチモジヨトウ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 7日前 まで	2回以内	散布	2回以内			
	アザミウマ類 コナガ アオムシ ウワバ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハイマダラノメイガ	2000～ 3000倍								
カリフラワー	コナガ アオムシ ネギアザミウマ ハスモンヨトウ							2000倍		
ブロッコリー	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ	2000倍								
	シロイチモジヨトウ							3000倍		
非結球 あぶらな科 葉菜類	コナガ アオムシ	2000～ 3000倍							1回	1回
レタス 非結球レタス	アザミウマ類 ナモグリバエ ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ							2000倍		
	シロイチモジヨトウ	2000～ 3000倍								
たまねぎ	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ		2000～ 3000倍	収穫 7日前 まで						

① 10.0%フルキサメタミド乳剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミウマ類 ネギコガ ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ クロバネキノコバエ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10 a	収穫 7日前 まで	2回以内	散布	4回以内 (苗浸漬は 1回以内、 株元灌注は 1回以内、 散布は 2回以内)
	ネダニ類	2000倍	1 L/m <sup>2</sup>	収穫 21日前 まで	1回	株元 灌注	
			—	植付時		30分間 苗浸漬	
トマト ミニトマト	アザミウマ類 ハスモンヨトウ コナジラミ類 ハモグリバエ類 オオタバコガ トマトサビダニ トマトキバガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	2回以内
なす	アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類 チャノホコリダニ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類						
ピーマン及び とうがらし類	アザミウマ類 オオタバコガ コナジラミ類 ハダニ類 チャノホコリダニ						
きゅうり	アザミウマ類 ハスモンヨトウ ウリノメイガ ハモグリバエ類 ハダニ類 コナジラミ類						

—: 規定されていない項目

① 10.0%フルキサメタミド乳剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルキサメタミド を含む農薬の 総使用回数
すいか メロン	アザミウマ類 オオタバコガ ウリノメイガ コナジラミ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000倍	100～ 300 L/10 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	アザミウマ類 マメシンクイガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ウコンノメイガ オオタバコガ フタスジヒメハムシ	2000～ 3000倍		収穫 14日前 まで			
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずき、 らっかせいを 除く)	ハスモンヨトウ						
あずき	アズキノメイガ	3000倍					
豆類 (未成熟、ただし、 えだまめを除く)	アザミウマ類 ハスモンヨトウ ハモグリバエ類						
えだまめ	アザミウマ類 マメシンクイガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ウコンノメイガ オオタバコガ フタスジヒメハムシ	2000～ 3000倍		収穫前日 まで			
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ハダニ類	2000倍					
オクラ	ハスモンヨトウ オオタバコガ						

① 10.0%フルキサメタミド乳剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルキサメタミド を含む農薬の 総使用回数
しょうが	ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	2回以内
アスパラガス	アザミウマ類 ハスモンヨトウ ハダニ類 ジュウシホシクビナガハムシ		100～ 500 L/10 a				
いちじく	アザミウマ類		200～ 700 L/10 a				
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ マダラカサハラハムシ ヨモギエダシヤク チャノホソガ チャトゲコナジラミ	2000～ 3000倍	200～ 400 L/10 a	摘採 14日前 まで	1回	散布	1回
	サビダニ類 チャノホコリダニ						
食用ぎく	アザミウマ類 ハスモンヨトウ ハダニ類 オオタバコガ	2000倍	100～ 300 L/10 a	収穫 3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
しそ科葉菜類 (えごま(葉) を除く)	アザミウマ類						
しそ (花穂)					収穫 7日前 まで	1回	株元 灌注
にら	ネダニ類	1 L/m <sup>2</sup>	収穫 14日前 まで				

① 10.0%フルキサメタミド乳剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数
らっきょう	ネダニ類	2000倍	1 L/m <sup>2</sup>	収穫30日前まで	2回以内	株元灌漑	5回以内 (種球への処理は1回以内、 株元灌漑は2回以内、 散布は2回以内)
		1000倍	—	植付前	1回	30分間種球浸漬	
	ホモノハダニ	2000倍	100~300 L/10 a	収穫14日前まで	2回以内	散布	
にんにく	チューリップサビダニ	2000倍		収穫7日前まで	1回		浸漬
		—	植付前				

② 10.0%フルキサメタミド水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アザミウマ類 ゴマダラカミキリ成虫 カネタタキ ケムシ類 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	4000倍	200~700 L/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう	ハスモンヨトウ チャノキイロアザミウマ			収穫14日前まで			
もも類	ハマキムシ類						
小粒核果類	ケムシ類						

(2) 海外での使用方法

その他のなす科野菜に係る残留基準の設定について今回インポートトレランス申請がなされており、今回申請に係る作物を四角囲いしている。

① 4%フルキサメタミド・3%メタフルミゾン乳剤（韓国）

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
とうがらし	ミカンキイロアザミウマ タバコガ Garden thrips	1000倍	収穫2日前まで	3回	散布

### 3. 代謝試験

#### (1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、サラダ菜、いちご及びびなすで実施されており、可食部で10%TRR<sup>注)</sup>以上認められた代謝物はなかった。

注) %TRR : 総放射性残留物 (TRR : Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

### 4. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

##### 【国内】

##### ① 分析対象物質

・フルキサメタミド

##### ② 分析法の概要

試料から (大豆、あずき、しそ及びびなすは、試料に水を加えて膨潤又は磨砕均質化後) アセトニトリル・水 (4 : 1) 混液又はアセトニトリルで抽出し、オクタデシルシリル化シリカゲル (C<sub>18</sub>) カラム、グラファイトカーボンカラム、グラファイトカーボン/エチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラム、又は C<sub>18</sub>カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料にケイソウ土を加えてアセトニトリル・水 (4 : 1) 混液で抽出し、C<sub>18</sub>カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

茶浸出液は、C<sub>18</sub>カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界 : 0.01 mg/kg

##### 【海外】

##### ① 分析対象物質

・フルキサメタミド

##### ② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・ギ酸 (99 : 1) 混液で抽出し、硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、クエン酸三ナトリウム二水和物及びクエン酸水素二ナトリウムセスキ水和物を加えて振とうした後、遠心分離する。上澄液に硫酸マグネシウム、PSA及び C<sub>18</sub>を加えて振とうした後、遠心分離し、上澄液をLC-MS/MSで定量する。

定量限界 : 0.01 mg/kg



## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

## 5. 魚介類における推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、本剤の水域環境中予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数 (BCF : Bioconcentration Factor) から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

### (1) 水域環境中予測濃度

本剤は水田以外においてのみ使用される。フルキサメタミドの非水田PECtier1<sup>注2)</sup>は、0.0055 µg/Lと示されている。

### (2) 生物濃縮係数

<sup>14</sup>C標識フルキサメタミド (第一濃度区 : 5 µg/L、第二濃度区 : 0.5 µg/L) を用いた28日間の取込期間及び28日間の排泄期間を設定したブルーギルの魚類濃縮性試験が実施された。フルキサメタミドの分析の結果から、BCF<sub>ss</sub><sup>注3)</sup> は2608 L/kg (第一濃度区)、2625 L/kg (第二濃度区)、BCF<sub>k</sub><sup>注4)</sup> は2759 L/kg (第一濃度区)、2964 L/kg (第二濃度区) と示されている。

### (3) 推定残留濃度

(1) 及び (2) の結果から、フルキサメタミドの水域環境中予測濃度 : 0.0055 µg/L、BCF : 2964 L/kgとし、下記のとおり推定残留濃度を算出した。

$$\text{推定残留濃度} = 0.0055 \mu\text{g/L} \times (2964 \text{ L/kg} \times 5) = 81.51 \mu\text{g/kg} = 0.082 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第4条第1項第8号に基づく水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出

注3) BCF<sub>ss</sub>: 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF

注4) BCF<sub>k</sub>: 被験物質の取込速度定数と排泄速度定数から求められたBCF

(参考): 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

## 6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルキサメタミドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：0.85 mg/kg 体重/day

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI：0.0085 mg/kg 体重/day

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験において、雄で甲状腺ろ胞細胞腺腫の発生頻度が、マウスを用いた18か月間発がん性試験において、雄で肝細胞腺腫の発生頻度が増加したが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(2) ARfD 設定の必要なし

フルキサメタミドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったため、急性参照用量 (ARfD) の設定は必要ないと判断した。

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において茶に基準値が設定されている。

8. 残留規制

(1) 残留の規制対象

フルキサメタミドとする。

植物代謝試験の結果、可食部において10%TRR以上認められた代謝物はなく、主要残留物はフルキサメタミドであったことから、残留の規制対象はフルキサメタミドとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

フルキサメタミドとする。

植物代謝試験の結果、可食部において10%TRR以上認められた代謝物はなく、主要残留物はフルキサメタミドであったことから、暴露評価対象はフルキサメタミドとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をフルキサメタミド（親化合物のみ）としている。

## （2）暴露評価結果

### ① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体（1歳以上）	27.2
幼小児（1～6歳）	43.8
妊婦	22.7
高齢者（65歳以上）	32.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

## フルキサメタミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
未成熟とうもろこし (種子)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 180~196 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01
だいず (乾燥子実)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 180~200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01 圃場D : <0.01 圃場E : <0.01 圃場F : <0.01
あずき (乾燥子実)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 150~179 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01
さといも (塊茎)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 170~189 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01
かんしょ (塊根)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 200~244 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01 圃場D : <0.01 圃場E : <0.01 圃場F : <0.01
やまのいも (塊茎)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 178~189 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01
だいこん (根部)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 200~300 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : 0.01 圃場D : 0.03 圃場E : 0.03 圃場F : 0.03
だいこん (葉部)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 200~300 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : 0.76 圃場B : 2.36 圃場C : 3.44 圃場D : 2.04 圃場E : 1.60 圃場F : 3.64
かぶ (根部)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 296, 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.04 圃場B : 0.04 圃場C : 0.03
かぶ (葉部)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 296, 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 3.32 圃場B : 0.98 圃場C : 3.12
はくさい (茎葉)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 167~298 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : 0.08 圃場B : 0.42 圃場C : 0.16 圃場D : 0.32 圃場E : 0.16 圃場F : 0.12
キャベツ (葉球)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 200~294 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : 0.19 圃場B : 0.53 圃場C : 0.03 圃場D : 0.08 圃場E : 0.11 圃場F : 0.02
こまつな (茎葉)	3	10.0%乳剤	3000倍散布 173~200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.46 圃場B : 0.32 圃場C : 0.72
きょうな (茎葉)	2	10.0%乳剤	3000倍散布 158, 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.62 圃場B : 0.65
チンゲンサイ (茎葉)	3	10.0%乳剤	3000倍散布 181~200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.10 圃場B : 0.28 圃場C : 0.86

## フルキサメタミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブロッコリー (花蕾)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 208~281 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A : 0.26 圃場B : 0.16 圃場C : 0.82
結球レタス (茎葉)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 232~296 L/10 a	2	3, 7, 14 3	圃場A : 2.78 圃場B : 0.68 (2回, 7日) 圃場C : 0.13 圃場D : 0.12 圃場E : 0.42 圃場F : 0.94
サラダ菜 (茎葉)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 154, 184 L/10 a	2	3, 7, 14 3, 7, 12	圃場A : 1.50 圃場B : 2.48
リーフレタス (茎葉)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 179, 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 4.39 圃場B : 5.22
食用ぎく (花弁)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 4.12 圃場B : 3.98
たまねぎ (鱗茎)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 167~200 L/10 a	2	7, 14, 21 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01 圃場D : <0.01 圃場E : <0.01 圃場F : <0.01
根深ねぎ (茎葉)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 188~200 L/10 a	2	7, 14, 21, 28 7	圃場A : 0.20 圃場B : 0.13 圃場C : 0.09
	3		2000倍浸漬 + 2000倍株元灌注 + 2000倍散布2回 290~300 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21 7	圃場A : 0.07 圃場B : 0.20 圃場C : 0.10
葉ねぎ (茎葉)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 185~192 L/10 a	2	7, 14, 21, 28 7	圃場A : 0.57 圃場B : 0.02 圃場C : 0.47
	3		2000倍浸漬 + 2000倍株元灌注 + 2000倍散布2回 292~300 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21 7	圃場A : 0.07 圃場B : 0.02 圃場C : 0.05
にんにく	2	10.0%乳剤	2000倍浸漬 + 2000倍散布 281, 289 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
にら (可食部)	3	10.0%乳剤	2000倍株元灌注 1 L/m <sup>2</sup> + 2000倍散布 293~300 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A : 1.18 圃場B : 2.60 圃場C : 0.96
アスパラガス (若茎)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.16 圃場B : 0.46
らっきょう (鱗茎)	2	10.0%乳剤	1000倍浸漬 + 2000倍株元灌注2回 1 L/m <sup>2</sup> + 2000倍散布2回 300 L/10 a	1+2+2	14, 21, 28	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
ミニトマト (果実)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 259~296 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 28 1	圃場A : 0.24 圃場B : 0.30 圃場C : 0.48 圃場D : 0.31 圃場E : 0.23 圃場F : 0.42
ピーマン (果実)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 249~262 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.39 圃場B : 0.17 圃場C : 0.60

## フルキサメタミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
なす (果実)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 208~300 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09
					1	圃場B : 0.06
						圃場C : 0.06
						圃場D : 0.08
						圃場E : 0.07
						圃場F : 0.13
ししとう	2	10.0%乳剤	2000倍散布 289,300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.46
					圃場B : 1.80	
甘長とうがらし	1	10.0%乳剤	2000倍散布 292 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.56
きゅうり (果実)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 226~296 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.15
					1	圃場B : 0.22
						圃場C : 0.13
						圃場D : 0.10
						圃場E : 0.05
						圃場F : 0.15
すいか (果肉)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 260~280 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01
					1	圃場B : <0.01
						圃場C : <0.01
						圃場D : <0.01
						圃場E : <0.01
						圃場F : <0.01
すいか (果実)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 260~280 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.06
					1	圃場B : 0.03
						圃場C : 0.06
						圃場D : 0.05
						圃場E : 0.08
						圃場F : 0.04
メロン (果肉)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 228~277 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01
メロン (果実)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 228~277 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場B : <0.01
						圃場C : <0.01
						圃場A : 0.10
メロン (果実)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 228~277 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場B : 0.17 (2回, 7日)
						圃場C : 0.10 (2回, 3日)
						圃場A : 0.10
オクラ (果実)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 240,280 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.54
しょうが (根茎)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 178~200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場B : 0.27
						圃場A : <0.01
						圃場C : <0.01
さやえんどう (さや)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 188,200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場C : 0.01
						圃場A : 1.37
						圃場B : 0.16 (2回, 3日)
さやいんげん (さや)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 169~179 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.46
						圃場B : 0.67
						圃場C : 0.44 (2回, 3日)
えだまめ (さや)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 150~200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.48
						圃場B : 1.67
						圃場C : 0.26
温州みかん (果肉)	6	10.0%水和剤	4000倍散布 500~700 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01
					7	圃場B : <0.01
						圃場C : <0.01
						圃場D : <0.01
						圃場E : <0.01
						圃場F : <0.01
温州みかん (果皮)	6	10.0%水和剤	4000倍散布 500~700 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 1.54
					7	圃場B : 0.80
						圃場C : 0.91
						圃場D : 0.72
						圃場E : 0.80
						圃場F : 1.66
温州みかん (果実)	6	10.0%水和剤	4000倍散布 500~700 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.27 注2) (2回, 14日)
					7	圃場B : 0.23 注2)
						圃場C : 0.26 注2)
						圃場D : 0.15 注2)
						圃場E : 0.14 注2)
						圃場F : 0.36 注2)

## フルキサメタミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
なつみかん (果実)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 570~600 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.07 (2回, 14日)	
						圃場B : 0.22 (2回, 14日)	
						圃場C : 0.13	
すだち (果実)	1	10.0%水和剤	4000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.03	
かぼす (果実)	1	10.0%水和剤	4000倍散布 556 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.07 (2回, 14日)	
ゆず (果実)	1	10.0%水和剤	4000倍散布 522 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.19	
もも (果肉)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 416~463 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01	
						圃場B : <0.01	
						圃場C : <0.01	
もも (果実)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 416~463 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.12	
						圃場B : 0.16	
						圃場C : 0.06	
もも (果実全体)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 416~463 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.11 注3)	
						圃場B : 0.13 注3)	
						圃場C : 0.05 注3)	
すもも (果実)	2	10.0%水和剤	4000倍散布 333, 338 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.01 (2回, 21日)	
						圃場B : <0.01	
うめ (果実)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 324~400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.46	
						圃場B : 0.22	
						圃場C : 0.17	
いちご (果実)	3	10.0%乳剤	2000倍散布 166~179 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.32	
						圃場B : 0.48	
						圃場C : 0.23	
いちじく (果実)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 300, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.22	
						圃場B : 0.30	
ぶどう (果実)	3	10.0%水和剤	4000倍散布 319~381 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.30 (2回, 21日)	
						圃場B : 0.19	
						圃場C : 0.19	
茶 (荒茶)	6	10.0%乳剤	2000倍散布 320~385 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 2.97	
						圃場B : 0.76	
						7, 14	圃場C : 1.37
							圃場D : 1.81
							圃場E : 0.54
							圃場F : 0.58
茶 (浸出液)	4	10.0%乳剤	2000倍散布 320~383 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.05	
						圃場B : <0.01	
						7, 14	圃場C : 0.01
							圃場D : 0.01
バジル (葉)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 2.21	
						圃場B : 1.72	
しそ (葉)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 13.4	
						圃場B : 10.6	
しそ (花穂)	2	10.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 5.56	
						圃場B : 3.58	

適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。  
今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注2) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注3) 果肉、果皮及び種子の重量比のデータから、種子には残留がないものとして果実全体の残留濃度を算出した。

## フルキサメタミドの作物残留試験一覧表 (韓国)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	
とうがらし	3	4%乳剤	1000倍散布 177~183 L/10 a	3	0, 1, 2, 5, 7, 14
					圃場A : 0.32
					圃場B : 0.28
					圃場C : 0.36 (3回, 5日)

適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。



食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
とうもろこし	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01(未成熟とうもろこし)
大豆	0.01	0.01	○			<0.01(n=6)
小豆類	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01
えんどう	0.01	0.01	○			(大豆参照)
そら豆	0.01	0.01	○			(大豆参照)
その他の豆類	0.01	0.01	○			(大豆参照)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01
かんしょ	0.01	0.01	○			<0.01(n=6)
やまいも(長いもをいう。)	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.07	0.07	○			<0.01~0.03(n=6)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	7	7	○			0.76~3.64(n=6)
かぶ類の根	0.1		申			0.03,0.04,0.04
かぶ類の葉	8		申			0.98,3.12,3.32
はくさい	0.8	0.8	○			0.08~0.42(n=6)
キャベツ	1	1	○			0.02~0.53(n=6)
ケール	2	2	○			(きょうな参照)
こまつな	2	2	○			0.32,0.46,0.72
きょうな	2	2	○			0.62,0.65(¥)
チンゲンサイ	2	2	○			0.10,0.28,0.86
カリフラワー	2	2	○			(ブロッコリー参照)
ブロッコリー	2	2	○			0.16,0.26,0.82
その他のあぶらな科野菜	2	2	○			(きょうな参照)
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	10	○			1.50,2.48(サラダ菜)、 4.39,5.22(リーフレタス)
その他のさく科野菜	10	10	○			3.98,4.12(¥)(食用ぎく)
たまねぎ	0.01	0.01	○			<0.01(n=6)
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.02~0.57(n=6)(根深ねぎ、葉ねぎ)
にんにく	0.05		申			<0.01,<0.01(¥)
にら	6	6	○			0.96,1.18,2.60
アスパラガス	1	1	○			0.16,0.46(¥)
その他のゆり科野菜	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(らっきょう)
トマト	1	1	○			0.23~0.48(n=6)(ミニトマト)
ピーマン	2	2	○			0.17,0.39,0.60
なす	0.3	0.3	○			0.06~0.13(n=6)
その他のなす科野菜	4		申・IT			0.46,1.80(ししとう)、0.56(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.4	0.4	○			0.05~0.22(n=6)
すいか(果皮を含む。)	0.2	0.2	○			0.03~0.08(n=6)
メロン類果実(果皮を含む。)	0.4	0.4	○			0.10,0.10,0.17
オクラ	2	2	○			0.27,0.54(¥)
しょうが	0.02	0.02	○			<0.01,<0.01,0.01
未成熟えんどう	3	3	○			0.16,1.37(¥)
未成熟いんげん	2	2	○			0.44,0.46,0.67
えだまめ	4	4	○			0.26,0.48,1.67
その他の野菜	4	4	○			(えだまめ参照)
みかん(外果皮を含む。)	0.7	0.7	○			0.14~0.36(n=6)
なつみかんの果実全体	0.5	0.7	○			0.07,0.13,0.22
レモン	0.5	0.7	○			0.03(すだち)、0.07(かぼす)、 0.19(ゆず)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.7	○			(みかん(外果皮を含む。))参照
グレープフルーツ	0.5	0.7	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	0.5	0.7	○			(レモン参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
その他のかんきつ類果実	0.7	0.7	○			(みかん(外果皮を含む。))参照
もも(果皮及び種子を含む。)	0.3	0.3	○			0.05,0.11,0.13
ネクタリン	0.3	0.3	○			(もも(果皮及び種子を含む。))参照
あんず(アブリコットを含む。)	0.9	0.9	○			(うめ参照)
すもも(ブルーンを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01,0.01(¥)
うめ	0.9	0.9	○			0.17,0.22,0.46
いちご	1	1	○			0.23,0.32,0.48
ぶどう	0.7	0.7	○			0.19,0.19,0.30
その他の果実	0.7	0.7	○			0.22,0.30(¥)(いちじく)
茶	6	6	○			0.54~2.97(n=6)(荒茶)
その他のスパイス	4	4	○			0.72~1.66(n=6)(みかんの果皮)
その他のハーブ	20	20	○			10.6,13.4(¥)(しそ(葉))
魚介類	0.09	0.09				推:0.082
はちみつ	0.05	0.05				※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

IT:海外で設定されている基準値を参照するようインポートレランス申請されたもの

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

## フルキサメタミドの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.01	0.01	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
大豆	0.01	0.01	0.4	0.4	0.2	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5
小豆類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
えんどう	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.01	0.01	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
かんしょ	0.01	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.07	0.02	2.3	0.7	0.8	0.2	1.4	0.4	3.2	0.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	7	2.307	11.9	3.9	4.2	1.4	21.7	7.2	19.6	6.5
かぶ類の根	0.1	0.037	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2
かぶ類の葉	8	2.473	2.4	0.7	0.8	0.2	0.8	0.2	4.8	1.5
はくさい	0.8	0.21	14.2	3.7	4.1	1.1	13.3	3.5	17.3	4.5
キャベツ	1	0.16	24.1	3.9	11.6	1.9	19.0	3.0	23.8	3.8
ケール	2	0.635	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1
こまつな	2	0.5	10.0	2.5	3.6	0.9	12.8	3.2	12.8	3.2
きょうな	2	0.635	4.4	1.4	0.8	0.3	2.8	0.9	5.4	1.7
チンゲンサイ	2	0.413	3.6	0.7	1.4	0.3	3.6	0.7	3.8	0.8
カリフラワー	2	0.413	1.0	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
ブロッコリー	2	0.413	10.4	2.1	6.6	1.4	11.0	2.3	11.4	2.4
その他のあぶらな科野菜	2	0.635	6.8	2.2	1.2	0.4	1.6	0.5	9.6	3.0
レタス (サラダ菜及びちりしやを含む。)	10	3.398	96.0	32.6	44.0	15.0	114.0	38.7	92.0	31.3
その他のさく科野菜	10	4.05	15.0	6.1	1.0	0.4	6.0	2.4	26.0	10.5
たまねぎ	0.01	0.01	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3
ねぎ (リーキを含む。)	2	0.247	18.8	2.3	7.4	0.9	13.6	1.7	21.4	2.6
にんにく	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	6	1.58	12.0	3.2	5.4	1.4	10.8	2.8	12.6	3.3
アスパラガス	1	0.31	1.7	0.5	0.7	0.2	1.0	0.3	2.5	0.8
その他のゆり科野菜	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
トマト	1	0.33	32.1	10.6	19.0	6.3	32.0	10.6	36.6	12.1
ピーマン	2	0.387	9.6	1.9	4.4	0.9	15.2	2.9	9.8	1.9
なす	0.3	0.082	3.6	1.0	0.6	0.2	3.0	0.8	5.1	1.4
その他のなす科野菜	4	0.94	4.4	1.0	0.4	0.1	4.8	1.1	4.8	1.1
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.4	0.133	8.3	2.8	3.8	1.3	5.7	1.9	10.2	3.4
ずいかん (果皮を含む。)	0.2	0.053	1.5	0.4	1.1	0.3	2.9	0.8	2.3	0.6
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.4	0.123	1.4	0.4	1.1	0.3	1.8	0.5	1.7	0.5
オクラ	2	0.405	2.8	0.6	2.2	0.4	2.8	0.6	3.4	0.7
しょうが	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	3	0.765	4.8	1.2	1.5	0.4	0.6	0.2	7.2	1.8
未成熟いんげん	2	0.523	4.8	1.3	2.2	0.6	0.2	0.1	6.4	1.7
えだまめ	4	0.803	6.8	1.4	4.0	0.8	2.4	0.5	10.8	2.2
その他の野菜	4	0.803	53.6	10.8	25.2	5.1	40.4	8.1	56.4	11.3
みかん (外果皮を含む。)	0.7	0.235	12.5	4.2	11.5	3.9	0.4	0.1	18.3	6.2
なつみかんの果実全体	0.5	0.14	0.7	0.2	0.4	0.1	2.4	0.7	1.1	0.3
レモン	0.5	0.097	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.235	4.9	1.6	10.2	3.4	8.8	2.9	2.9	1.0
グレープフルーツ	0.5	0.14	2.1	0.6	1.2	0.3	4.5	1.2	1.8	0.5
ライム	0.5	0.097	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	0.7	0.235	4.1	1.4	1.9	0.6	1.8	0.6	6.7	2.2
もも (果皮及び種子を含む。)	0.3	0.097	1.0	0.3	1.1	0.4	1.6	0.5	1.3	0.4
ネクタリン	0.3	0.097	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	0.9	0.283	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
すもも (プルーンを含む。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
うめ	0.9	0.283	1.3	0.4	0.3	0.1	0.5	0.2	1.6	0.5
いちご	1	0.343	5.4	1.9	7.8	2.7	5.2	1.8	5.9	2.0
ぶどう	0.7	0.227	6.1	2.0	5.7	1.9	14.1	4.6	6.3	2.0
その他の果実	0.7	0.26	0.8	0.3	0.3	0.1	0.6	0.2	1.2	0.4
茶	6	0.015	39.6	0.1	6.0	0.0	22.2	0.1	56.4	0.1
その他のスパイス	4	1.072	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.8	0.2
その他のハーブ	20	12	18.0	10.8	6.0	3.6	2.0	1.2	28.0	16.8
魚介類	0.09	0.0254	8.4	2.4	3.6	1.0	4.8	1.4	10.3	2.9
はちみつ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
計			475.8	127.6	216.9	61.4	416.1	112.7	567.4	153.1
ADI比 (%)			101.6	27.2	154.7	43.8	83.7	22.7	119.0	32.1

TMDI: 理論最大一日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

茶については、浸出液のデータが4例のみのため、4例の浸出率の中央値 (0.010) を、浸出液を分析していない荒茶2例に乗じて浸出液の残留濃度を算出し、それらの平均値を代表値としてEDI試算をした。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乘じた値を用いてEDI試算した。

(参考)

これまでの経緯

平成28年	11月	8日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：キャベツ、トマト等）
平成29年	3月	15日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	12月	12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年	3月	23日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成31年	1月	22日	残留農薬基準告示
令和3年	5月	25日	薬事・食品衛生審議会へ諮問（基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定）
令和3年	6月	16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年	6月	22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	7月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和3年	12月	17日	残留農薬基準告示
令和2年	6月	3日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：あずき、アスパラガス等）
令和2年	11月	17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：やまのいも、いちじく等）
令和3年	6月	14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かんきつ、もも類等）
令和3年	11月	26日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：未成熟とうもろこし、にら等）
令和4年	1月	19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年	3月	9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和4年	6月	15日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和5年	2月	14日	残留農薬基準告示
令和5年	1月	5日	インポートトレランス申請（その他のなす科野菜）
令和5年	3月	15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準

値設定依頼（適用拡大：かぶ、にんにく等）

令和 5年 8月31日 薬事・食品衛生審議会へ諮問

令和 5年 9月12日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- ◎ 穂山 浩 学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授  
井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授  
大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長  
○ 折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授  
加藤 くみ子 学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授  
神田 真軌 東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員  
魏 民 公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科  
環境リスク評価学准教授  
佐藤 洋 国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授  
佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授  
須恵 雅之 学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科  
生物有機化学研究室教授  
瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事  
（兼）国立健康・栄養研究所所長  
田口 貴章 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長  
中島 美紀 国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所  
薬物代謝安全性学研究室教授  
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官  
野田 隆志 一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問  
二村 睦子 日本生活協同組合連合会常務理事

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

フルキサメタミド

今回残留基準値を設定する「フルキサメタミド」の規制対象は、フルキサメタミドのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
とうもろこし	0.01
大豆	0.01
小豆類 <sup>注1)</sup>	0.01
えんどう	0.01
そら豆	0.01
その他の豆類 <sup>注2)</sup>	0.01
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01
かんしょ	0.01
やまいも（長いもをいう。）	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.07
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	7
かぶ類の根	0.1
かぶ類の葉	8
はくさい	0.8
キャベツ	1
ケール	2
こまつな	2
きょうな	2
チンゲンサイ	2
カリフラワー	2
ブロッコリー	2
その他のあぶらな科野菜 <sup>注3)</sup>	2
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	10
その他のきく科野菜 <sup>注4)</sup>	10
たまねぎ	0.01
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.05
にら	6
アスパラガス	1
その他のゆり科野菜 <sup>注5)</sup>	0.05
トマト	1
ピーマン	2
なす	0.3
その他のなす科野菜 <sup>注6)</sup>	4

食品名	残留基準値 ppm
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.4
すいか（果皮を含む。）	0.2
メロン類果実（果皮を含む。）	0.4
オクラ	2
しょうが	0.02
未成熟えんどう	3
未成熟いんげん	2
えだまめ	4
その他の野菜 <sup>注7)</sup>	4
みかん（外果皮を含む。）	0.7
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	0.5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	0.5
ライム	0.5
その他のかんきつ類果実 <sup>注8)</sup>	0.7
もも（果皮及び種子を含む。）	0.3
ネクタリン	0.3
あんず（アプリコットを含む。）	0.9
すもも（プルーンを含む。）	0.05
うめ	0.9
いちご	1
ぶどう	0.7
その他の果実 <sup>注9)</sup>	0.7
茶	6
その他のスパイス <sup>注10)</sup>	4
その他のハーブ <sup>注11)</sup>	20
魚介類	0.09
はちみつ	0.05

注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注3) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注9) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注10) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注11) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。